第1回　大阪府堺市保健医療協議会（医療・病床部会）議事概要

日時：平成３０年８月１日（水）１４:００～１６：００

場所：堺市役所　本館6階　健康部会議室

■議題１　「地域医療構想の進め方について」

■議題２　「堺市二次医療圏（地域医療構想）の進捗状況と課題」について

■議題３　「地域医療介護総合確保基金（医療分）について」

　　　　　　・説明後、意見提示は次回へ継続となった。

■議題４　「近畿大学医学部移転に伴う医学部附属病院再編計画（素案）ついて」

・本議題を先に審議した。

・質疑応答の後、本議題については議論継続となった。

■議題５　「その他」

（主な質問・意見等）

○大阪狭山市の跡地での医療機能の確保について、「医療法人等への経営移譲」と書かれているが、病床数はどうなるのか。

○大阪府が考えているのは、病院の二次医療圏越えではなく、あくまでも医学部の二次医療圏越えである。医学部は二次医療圏に縛られない。

○近畿大学医学部附属病院が堺市に移転したとしても、南河内医療圏に対して、今まで通りの機能を保つという形になると思う。あわせて、各病院間の連携をしっかりしないといけない。

○近畿大学が移転しても、患者さんの動向にもあまり影響は無いと大阪府は言っていた。地域医療構想の論議に混乱を与えるようなことはしませんということではないのか。

○病院連絡会では、どういう形で討議する予定としているのか。他の医療圏では、グループ別で各病院がプレゼンテーション後、グループ協議という形をとっている。堺市はどういう形でする予定をしているのか。

○慢性期がかなり多い。回復期に移行するとか、あるいは慢性期を介護の方に移行するとかそういった取り組みが大切ではないか。

○がんが流出超過になっている。がんの患者さんが堺市から出て行っていると読める。堺市圏域としては、がんの患者さんを、堺市圏域の中で治療したい思いがあるため、民間病院もがん医療を将来担いたいと思っておられると解釈できるのではないか。

（主な大阪府及び堺市の回答）

○近畿大学医学部移転に伴う医学部附属病院再編計画（素案）については、これから調整し内容を固めていく段階である。

○病床数については、やみくもに増やすということではなく、特例の範囲の中で、地域の医療を考えたときに何が適切かということを模索している。

○医学部と病院が離れてあることで不都合が生じる場合があることから、厚生労働省の通知（医学部併設特例）により、医学部と併設して病院を作るということでご理解をいただきたい。

○全体的な考え方としては、グループ討議という形で、地域の状況や病院のご希望等を考えグループを設定し、その中でプラン調査の内容について、意見交換をする。グループ討議終了後、報告という形で、特に重要な部分についてはご説明いただき、認識の共有を図っていくことになる。

以　上